

教育・社会的格差領域

青少年期から成人期への移行についての追跡的研究

(JAPAN EDUCATION LONGITUDINAL STUDY)

耳塚 寛明 (お茶の水女子大学理事・副学長)

王 杰(傑) (お茶の水女子大学人間発達教育研究センター)

垂見 裕子 (お茶の水女子大学人間発達教育研究センター)

本研究は日本の青少年の学齢期から青年期にかけてのトランジションの過程を主として縦断的方法によって観察し、学力・能力、アスピレーション、進路・職業生活の統計的ポートレートを手に入れることを目的とする。2003年から2011年にかけて、主に関東地方Aエリア、東北地方Cエリアにおいて、小3、小6、中3、高3の児童生徒を対象とする学力調査、質問紙調査、保護者および担任等を対象とする質問紙調査、高校卒業者を対象とする決定進路調査を実施してきた。第一波調査は2003-04年、第二波調査は2006-07年、第三波調査は2009-10年にそれぞれ行われた。2011年に、高校卒業者の追跡調査も予定の通り終えた。さらに、高校卒業者の就業と家族形成の在り方を考察するために、3つのコーホートの卒業者を対象とするFollow-up調査を企画し、科学研究費助成金基盤研究(B)を申請した(図表1)。

そして2011年度、JELSのメンバーは主として以下の調査研究活動に取り組んだ。

1)東北地方Cエリアへの成果報告

①Cエリアで実施した第三波調査のデータを分析し、県教育庁、市教育委員会、調査対象校および調査に協力したすべての児童生徒とその保護者に調査結果のフィードバック資料(パンフレット、約3800部)を作成し、学校を通して配布または直接個人へ郵送した。

②市教育委員会の担当者、小中学校の校長らを対象に第一波、第二波および第三波調査に関する取りまとめ報告会を開いた。児童生徒の学力の変化、学力形成の規定要因、教員指導と学力、学力の学校間格差の実態、児童生徒の進路希望の変化および進路希望の規定要因等を、関東地方Aエリアの調査結果と比較しながら、報告した。学力の学校内格差が比較的大きい、児童生徒の学力や進路希望は世帯所得などの家庭的背景に強く影響されるといった分析結果は、Cエリアの教育関係者に衝撃を与えたようである。

2) 郵送による追跡調査

① Cエリア 2010年度の高校卒業者を対象に、決定進路についての質問紙調査を企画し、郵送による追跡調査を実施した（郵送 787部、回収 258部、回収率 32.8%）。

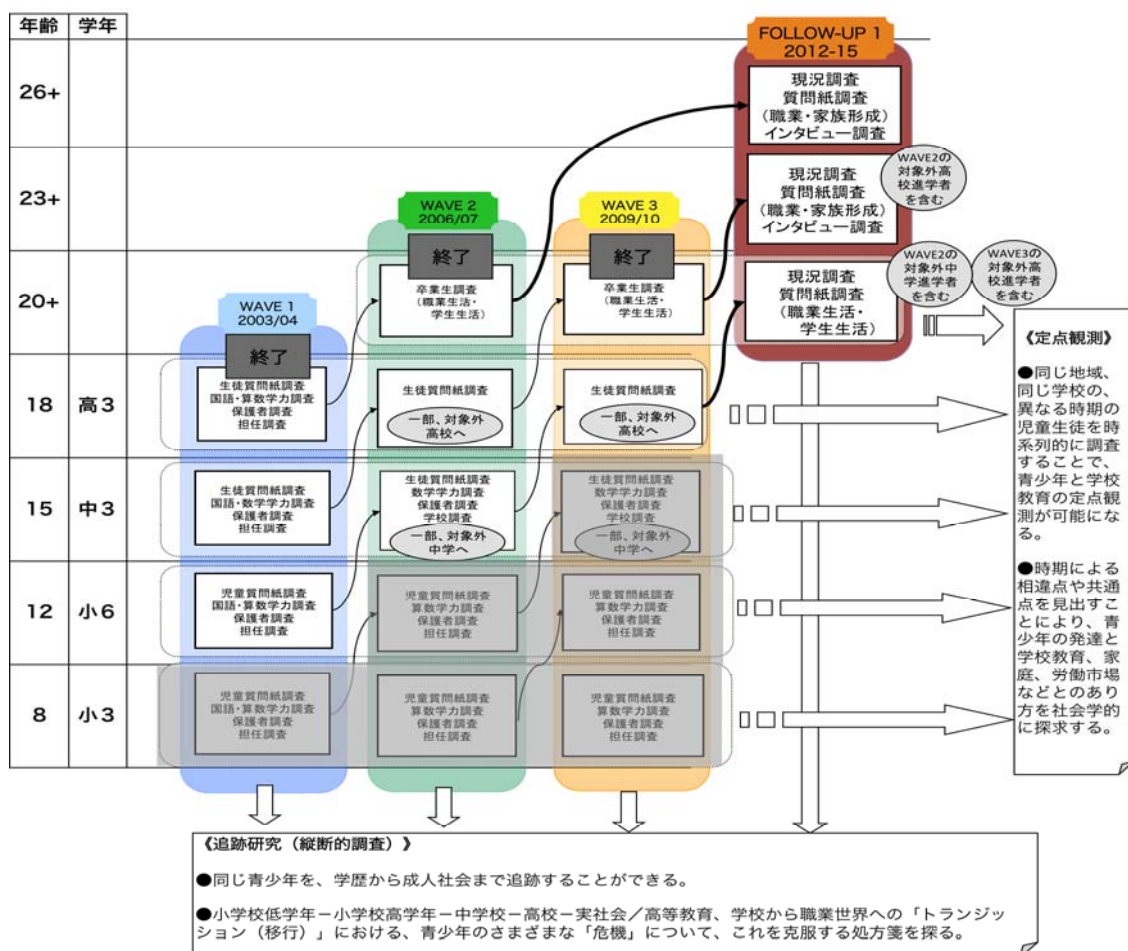
3) 上海市 A 区における児童生徒および保護者調査の実施

① JELS の設計と比較することが可能にした上海調査を企画し、復旦大学の研究者に委託し、上海市を代表できる A 区において、小 3、中学校予備学級、中 3 および高 3 の児童生徒を対象とする質問紙調査、中学校予備学級と中 3 の保護者を対象とする質問紙調査を実施した。計 7053 部の質問票を配布し、5985 部を回収した。回収状況は図表 2 のとおりである。

4) JELS データを使用した学会口頭発表

① 「21 世紀初頭の日本における高校生の進路志向と学歴希望」中日教育研究協会第 2 回大会、2011 年 4 月 24 日（於在日中国大使館教育処、報告者：王杰（傑））

図表 1 JELS の設計図



図表 2 上海調査の回収状況

		小3	中学校予備学級	中3	高3
配布学校数	児童生徒質問紙調査	5	4	5	6
	保護者調査	—	4	5	—
配布票数	児童生徒質問紙調査	1002	1279	1023	1447
	保護者調査	—	1279	1023	—
無効票数	児童生徒質問紙調査	45	163	224	167
	保護者調査	—	172	297	—
回収学校数	児童生徒質問紙調査	5	4	5	6
	保護者調査	—	4	5	—
回収票数	児童生徒質問紙調査	957	1116	799	1280
	保護者調査	—	1107	726	—
有効回収率	児童生徒質問紙調査	95.5%	87.3%	78.1%	88.5%
	保護者調査	—	86.6%	71.0%	—

②「家庭の経済力と子どもの進路」日本教育社会学会第 63 回大会一般部会 IV-7 部会「教育費負担の現代的課題」2011 年 9 月 24 日、要旨集録 321-322 頁（於お茶の水女子大学、報告者：蟹江教子）

③「進学を希望しない高校生」日本教育社会学会第 63 回大会一般部会 VI-4 部会 進路と教育 (2)、2011 年 9 月 25 日、要旨集録 429-430 頁（於お茶の水女子大学、報告者：王杰(傑)）

5) 報告書の刊行 『JELS 第 15 集 C エリア Wave3 調査報告および香港調査報告』

報告書の目次

調査の概要	王杰(傑) 耳塚寛明
第 I 章 東北地方一市における学力の経年変化とその規定要因	中島ゆり
第 II 章 小学校および中学校における学力の学校間格差—ふたつの地域の比較	垂見裕子
第 III 章 学力と学習時間の関連—地域間比較の観点から	中西啓喜
第 IV 章 学習指導方法と学力	蟹江教子
第 V 章 高校生の生徒文化と社会観	大多和直樹
第 VI 章 誰が高等教育へのアクセスを希望しないのか	王杰(傑)
第 VII 章 所得別・子どもの性別にみた教育投資動機	寺崎里水
Chapter1 Private Out-of-school Education in Hong Kong	Kong Peggy A

6) 上海調査成果報告会の主催

「上海の学校外教育—小中高生と保護者調査から」（2012 年 2 月 20 日、報告者：復旦大学教授 張曉鵬）